



第33号

木曾川町連区



# 地域づくり協議会だより

【発行日】平成30年7月1日 【発行者】木曾川町連区地域づくり協議会  
〒木曾川町内割田一の通り27(一宮市木曾川庁舎内) ☎84-0005  
【メールアドレス】k-chiiki@orihime.ne.jp  
【ホームページ】http://138kisogawa.org 木曾川町連区で検索してね♪



↑  
こちらからどうぞ

## ふる里再発見!! 活気あるまちづくりを

活気部会長 日比野 隆夫

活気部会では、昨年度より「地域課題」へのチャレンジとして、学校教育と地域の関係機関との連携、協働での事業とし「ふる里の再発見」事業を実践する事をテーマとして取り組んでまいりました。本年度は、具体的に3小学校のご理解、ご協力をいただき、木曾川西小学校では雀のお宿の歴史、環境省が絶滅危惧種として天然記念物に指定されたイタセンパラの生息地、冬季に白鳥の飛来地等、豊かな木曾川流域での歴史や自然環境等の講演会、黒田小学校では、戦国武将山内一豊公の生誕地としての黒田城の歴史についての講演会、木曾川東小学校では、木曾川の流木等を使ったアート作品作成等を実施する予定であります。又、現在の街並みと古き時代での街並み等のパネル写真を作製し、関係機関での展示会を予定しております。

わが街、木曾川町には素晴らしい自然環境があり、歴史豊かな町であることを沢山の皆さんに知っていただくと共に、ふる里の再発見をしていただく機会に生まれるような事業に取り組んでいきたいと思っております。本年度も、従来での活動の充実をはかり各団体との連携を模索し、世代間の連携と活気あるまちづくりを目標として活気あるまちづくりを進めていきたいと思っております。今後も活気部会へのご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

## 見守りネットワークの活性化

思いやり部会長 宇佐見 正重

一人ひとりが生き生きと健やかに暮らせる町づくりを目指し、昨年度に続いて“見守りネットワーク事業”の活性化を思いやり部会の重点活動として推進します。見守りネットワークをより実効性のあるものにするために、次の活動について具体的な方策を話し合っって実行に移すことが肝要です。

### ① 「声かけ運動」による見守り活動の推進

各町内において、町会長・民生児童委員・福祉委員ならびに班長が連携し、協力し合ってお年寄りや障害者・子供たちを見守るためには、お互いが「顔の見える」関係づくりを構築することが第一歩です。これは災害時の避難支援、安否確認の際にも大切です。

② 「ふれあいいきいきサロン」の拠点づくり  
サロン開設に不可欠なものは、ボランティアスタッフと  
建物です。その確保のためには住民の熱意と協力に加え、  
行政の支援と社会福祉協議会、地域包括支援センター  
及び福祉施設等との連携が必要です。



西割田 健康カフェ

また、今年度より始まった、思いやり部会の3つの  
提案事業“認知症徘徊訓練・社会資源のマップ化・  
通学児童の見守り支援”において、住民の皆さん並びに  
町内の3小学校始め各関係団体のご協力をお願い申し上げます。

## 災害時に備え安心安全なまちづくり

安全安心部会長 中井 義也

いつも木曽川町連区地域づくり協議会の活動にご協力いただき誠にありがとうございます。  
平成30年度に安全安心部会長を承ることになりました中井義也と申します。

今年度安心安全部会では、大きく3つの活動をおこなっていきます。

①災害時非難マニュアルの策定準備

②安心安全の啓発

③HUGの開催

です。



①災害時避難マニュアルについては、昨年度各小学校区で、避難所担当地域を分けさせていただいたと引き継いでおります。それを元に、わかりやすい資料の作成や、実際に災害が起きたときにどうすればいいか？など、明確にしておくとともに、その認知活動の準備をおこなってまいりたいと思います。

可能な限り現実に即し地域の方々に役立つ資料作りの準備をおこなっていきます。

②安心安全の啓発については、8月5日におこなわれます着衣水泳教室や9月30日におこなわれます防災訓練がございます。その他にも啓発活動として、災害時避難マニュアルとともに、それを広める活動の準備を1年かけておこなってまいります。

③HUGの開催についてですが、HUGというのは、H避難所U運営Gゲームの略でございます。昨年度も地域の方々に参加していただき、実際に災害が起きたときの現実を知り、今後の対策を立てる上で、とても重要なことを学びました。この活動を続けていき、地域

の皆様と情報を共有しながら、災害時の基本的な行動などを共有できればと思います。

安心・安全とは、私たちが日頃意識し、その意識が結集するとすごく大きな力になります。私たち安心安全部会では、この3つの活動を通じて、地域の方々の安心安全にお役に立てればと思います。

これからもどうぞ、ご協力よろしくお願い致します。

## 女性目線で考える地域づくり

女性部会長 宮崎 初美

地域づくり協議会に「女性部会」が発足して今年で3年目になります。女性部会は、「木曾川町を愛し、仲間を大切に作る」という条件がそろった方ならどなたでも参加できる部会です。私たちは「女性目線で考え、提案し、参画すること」を目標に活動しております。

1年目は、親子着衣水泳の運営、防災訓練のお手伝い。2年目はそれに加えて、HUG体験教室を基に防災マニュアルの制作の一部をお手伝いさせていただきました。また、女性目線で考えた今後の課題である「介護の問題」に取り組むためのはじめての一步として「認知症サポーター養成講座」を開催しました。

「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」という内容で、各町内の町会長及び町内会役員の方を対象にご参加いただき、50名を超える方々が「認知症サポーター」の証であるオレンジリングを進呈されました。今年度も各町内に声をかけさせていただき、さらにオレンジリングの輪を広げていきます。

また、今年度は11項目の提案事業が始まりますので、女性部会の部員のみならずにも各事業に参画いただき、部会を超えた活動にもチャレンジして、持ち前のパワーを発揮していただく予定です。

地域の皆さまには、まずは「地域づくり協議会」に興味を持っていただき、各事業に参加していただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## みなさまのお役に立てる情報誌として

広報部会長 菱川 陽子

木曾川町連区の地域づくり協議会は発足をして4年が経過しましたが、残念ながら、まだまだ地域づくり協議会を知っている方が少ないのが現状です。役員の方が木曾川町のためにと頑張ってくださいしていますので、その活動やその思いも、この「地域づくり協議会だより」を通じて、発信していけたら・・・イヤ!!発信していかなきゃ!!っと思っております。

また、木曾川町に住んでいる方みなさまのお役に立てる情報誌として活用していただけるよう、若い世代の方にも身近な内容を載せたり、子育て世代の方に役立つ情報を載せたり、高齢者向けの情報を載せたりなど、各世代の方向けの内容も載せていけたらと思っております。

その他にも、木曾川町で活躍されている方の紹介や、木曾川町にあるお店紹介など、地域密着の情報も載せていきたいと思っております。

広報部会長になって2年目ですが、この1年も頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

☆みなさまからの情報提供もお待ちしております☆

ご協力宜しくお願い致します♪





## 第1回「お天気講座」を開催



5月12日（土）「お天気講座」にふさわしい快晴のなか、第1回の講座が開催されました。今年3月に受講募集を行い、60名程の希望者がありました。第1回目となるこの日は、数名の方が所用で欠席があるものの、ほぼ満席の状態で開催することが出来ました。

講師の寺尾さんは、NHK「まるっと」の気象キャスターとして活躍されており、いつも見ている背広にきりりと引き締まったネクタイ姿とは打って変わり、ラフなそれでいて、何か・どことなく知性が滲み出る雰囲気醸し出しながら、NHKスタジオの風景とか自分の出演状況の心の内をしゃべるなど、聴衆の気持ちをひきつけながら、今回のテーマである「梅雨」について、気象図や過去のデータを、ふんだんに駆使して説明してくれました。時々、なるほどと頷いて見える方もありました。



また、この木曽川町の地形について、北に雨雲の発生に影響を与えるこれといった山が無いので、昨年豪雨に見舞われた小牧や犬山とは地理的に近いようではあるが恵まれているのでは？との話もありました。

最後の質問コーナーでは、飛行機の進行方向と飛行機雲の発生の違いや最近の気象状況の変化（台湾坊主＝南岸低気圧）などかなり高度な質問があり、寺尾さんも一瞬、「えっ」と戸惑うような場面もありました。参加者全員、素晴らしい時間を持つことが出来ました。

